

会報神奈川

令和3年5月20日発行

発行責任者 神奈川県神道青年会会長 川辺浩司
〒222-0002 横浜市港北区師岡町1137 電話 (045)531-0150

神奈川県神道青年会創立70周年 「生児八十綿連～うみのこのやそつづき～」



東日本大震災発災十年早期復興祈願祭



神奈川県神道青年会



<http://www.k-jinja.jp/seinenkai/>

会長 退任 挨拶

神奈川県神道青年会 第二十七代会長 川辺 浩司



謹んで聖寿

の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。また神宮におかれましても諸祭恙なく肅行されておりますこと慶賀に存じ上げます。

さて、当会会長を仰せつかつて以来、神奈川県神社庁を始め県内宮司、先輩諸賢、友好団体各位には、感染症拡大の影響により活発な事業の実施が難しい状況が続く中におきましても、温かいご理解とお力添えを賜りましたこと心より厚く御礼申し上げます。会員参加が叶わない状況においても、ウェブを活用した役員会や研修会の実施など今行すべきことを模索して参りました。会員と共に考え経験したことは今後の当会発展の一助になると考えております。

また通常事業に加え多くのご支援を頂いております創立七〇周年記念事業におきましては、中間報告でもお示しさせて頂きましたように、当初予定していた事業の見直しを余儀なくされておりますが、守屋会長を中心に令和三年度内での事業完遂に向け進んで参ります。

ます。

役員、会員各位には、参会による役員会や諸事業が制限される中、活動方針に基づき共に歩みを進めて頂きましたことに感謝申し上げます。今期におきましては、例年のような年間事業計画に沿った会務運営を行うことが叶いませんでしたが、先の見通しが不透明な中でも青年神職としての自覚を持ち、一歩ずつ足跡を残すことができました。

その中でも今期最後の事業として、令和三年三月十一日に神奈川県神社庁御神殿において「東日本大震災発災十年早期復興祈願祭」を執行し、会員一同で復興への祈りを捧げることが叶いました。また令和元年に関東地方に上陸した台風災害では、東日本大震災における復興支援活動を教訓に迅速に対応し、その後も神奈川県神社庁の主導のもと災害備蓄倉庫の設置に向け進んでおりますことは、当会における継続性のある事業構築への新たな道筋になったと確信しております。

社会情勢の変化に伴い、当会の活動も時代に即した事業構築がのぞまれています。会員各位には先輩諸賢が受け

継いでこられた青年神職としての原点を忘れることなく、守屋会長を中心に会員相互が共に学び成長することができるよう、今後とも会務運営に対して変わらぬご理解とより一層のご協力をお願い申し上げます。

結びに、任期中におきましてご厚情を賜りました先輩諸賢、関係各位に改めて感謝申し上げますとともに、今後当会へ変わらぬご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。会長退任にあたり御礼のご挨拶とさせて頂きま

御装束・御履・神具
神 祭 具 調 度
宮内庁御用達・京都百年老舗

有限会社 **竹 重**

〒600-8324 京都市下京区西洞院通花屋町上る東側町510
Tel 075-371-0394 FAX075-341-6966
フリーダイヤル 0120-37-0394

御社頭授与品
御参拝記念品
立案調製

〈営業品目〉 ●交通安全御守護
●開運招福鈴
●文鎮 金盃
●各種記念品類
●胸像・レリーフ・鑄造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp
http://www.suzuki-kisho.co.jp

株式会社 **クレックス**

代表取締役 近藤 栄人

〒194-0014 東京都町田市高ヶ坂六十八-1 〇番地
電話 〇四二七二八-八九四一代
FAX 〇四二七二三-三五六三

神奈川県神社庁御用達

会長就任挨拶

神奈川県神道青年会 第二十八代会長 守屋 隆広



先ず以て、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。

神宮に於かれましては、諸祭恙無く肅行されておられますこと、慶賀に存じます。

さて、昨年十二月の臨時総会に於いて、川辺前会長の後を受け、七十年の歴史を刻んだ当会会長の重責を預かる事となりました。

未熟者ではございますが、先輩諸賢の積み上げてこられた神奈川県神道青年会の名を汚す事の無いよう、精励恪勤の思いで二年間務めて参ります。

昨年は、当会創立七〇周年の節目を迎え、神奈川県神社庁始め、県内宮司、先輩諸賢、関係団体各位から沢山のご協賛を賜り、次世代へ思いを繋ぐべく、多くの記念事業を実行する予定でございました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、周年事業のみならず会全体の事業運営が難しくなり、何か出来る事は無いかと模索を続ける一年であったように思います。

今期も、世情ではwithコロナと

言われる通り、劇的に元の生活へ戻る事は考えにくく、会の運営においても昨年同様に出来る事を考え続ける期間となる事も予想されます。そんな中でも、斯界の尖兵として必ず出来る事を見つけ、会員一丸となって一歩ずつ前へ前へと足跡を付け続ける事で次世代に思いを繋いで参りたく存じます。

去る二月十三日には、東日本大震災発災十年を目前に福島県沖を震源とする最大震度六強の地震があり、近年多発する自然災害の猛威を改めて実感する事となりました。今後も起こるであろう自然災害とどう向き合っていくべきなのか、有事の際には青年神職も力になれるよう防災意識の醸成を図れる事業展開の検討を致したく存じます。

三月十一日には神奈川県神社庁御神殿に於いて、川辺前会長を斎主とし東日本大震災発災十年早期復興祈願祭を役員参集のもと執り行い、我々の原点は祭祀の厳修と祈りを続けていく事であることを再認識致しました。

祈りの継続の中に英霊顕彰がございます。今期を出発点として県内の慰霊碑忠魂碑調査を開始し、戦後八十年を目標に調査を纏め、先人たちの御遺徳を顕彰すると共にお慰めする思いを新

たに致したく存じます。

コロナ禍において、生活、信仰、経済など様々な分野で多様化が進み、時代の急速な変化に流されそうなる今、改めて思うのは初心と原点です。何故青年会が作られたのか、その瞬間の先人の思いはどのようなものだったのか、戦後日本の荒廃を慰み、祖国の再建と神道興隆の為に先人たちが熱い思いで自らの命を削りながら時代を切り開いてこられたように、今一度初心を見つめ直し、我々も時代に流されるのではなく、自らの意思でこの混沌とした状況を一つ一つ打破し、時代を築く一端を担っていきたい、そういう強い思いで歩んで参る所存です。

コロナ禍で事業構築も困難な状況ではございますが、会員の皆様と知恵を出し合いながら事業を計画し、有意義な事業を展開できるよう努めて参りますので、会員の皆様には忌憚なきご意見をお寄せいただきますと共に事業への積極的な参画を何卒お願い申し上げます。

先輩諸賢におかれましては、叱咤激励は元より一層のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息と各御社頭の御隆昌と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

大切なイメージを
カタチにします。

オリジナルグッズ・記念品

KOWA

KOWA DISPLAY CO., INC.

株式会社 晃和ディスプレイ

東京都目黒区目黒本町3-13-10 〒152-0002

TEL: 03-3792-0211 FAX: 03-3792-0925

ホームページ <http://www.kowa-dsp.co.jp/>

御装束・御社殿装飾調度・祭器具
家庭用御宮各種・授与品・記念品

(株) 高善装束店

代表取締役 桑 茂雄

〒113-0021 東京都文京区本駒込3-2-9

TEL 03(5815)8771

FAX 03(5815)8772

シリーズ 言霊



大山阿夫利神社

宮司 目黒 仁

稽古照今(けいこしょうこん)：「古を稽(かんが)へて風猷(ふうゆう)をすでに廃(すた)れるに繩(ただ)し、今に照らして典教(てんきょう)を絶えむとするに補わずということなし。」

日本最古の書と言われる古事記序文にある言葉から取られたもので口語にすると「古の事を考えてそれを今の有様に照らしてみても、道徳がすたれるのを正し、正しい人の道が絶えようとするのを補わないということはない。」ということになります。

古事記の編纂は天武天皇の「帝紀や本辞は、我が国の起源由来と先祖が国土経営を重ねてきた大本である。ゆえに帝紀を撰録し、旧辞を究め明らかにして、偽を削り



真実を定めて、後世に伝えたい。」国の始まりや歴史を学ぶことは何事においても重要なことであるとの趣旨から書かれており、いつの世でも留め置かねばならないと思います。

稽古照今、「古の事や教えを今の様に照らし、これからの指針を見出し自身の行動に活かす。」という意の四字熟語はよく知られているところであります。

写真の書は、明治維新を経て神社界の一大改革の折、阿夫利神社初代祠官として着任した勤王の志士・皇朝医道の師と言われた権田直助翁が、その天賦をもって神道教導職として、翁の教えを乞う門弟たちへの講義の中でもよくこの語をもって説

写真的書は、明治維新を経て神社界の一大改革の折、阿夫利神社初代祠官として着任した勤王の志士・皇朝医道の師と言われた権田直助翁が、その天賦をもって神道教導職として、翁の教えを乞う門弟たちへの講義の中でもよくこの語をもって説

常により「稽古照今」神々の導きの

もとい先人の力の記録をたどりながら、必ずや古の時代から伝え築き受け繋いできた叡智により難題を乗り越えていけるものと思いま

誠実奉仕、信用第一

神社本庁 御用達
國學院大學 推薦店
明治神宮 指定店

瀬戸装束店

〔営業品目〕

●神職御装束 ●神家装束 ●神社調度
●祭器具のすべて ●神前結婚式場神殿設備

東京都中野区中野3丁目10番5号
〒164-0001

電話 03-3381-4927
FAX 03-3381-4927

取引銀行 三菱UFJ銀行中野駅前支店
普通預金No.0359145
郵便振替口座 00120-7-557201

土佐松 ご希望のサイズでお作りします

森の道具屋

〒781-2120 高知県吾川郡いの町枝川 177-3

TEL088-850-4087 FAX088-850-4076

http://www.morinodouguya.ecweb.jp

mail morinodouguya@titan.ocn.ne.jp

活動報告

稲刈り

企画部 部長 目黒久仁彦

令和二年十月七日、伊勢原市比々多地区にごさいます神奈川県神道青年会



御神田に於きまして、稲作体験事業「稲刈り」が行われました。残念ながら田植えに引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に鑑みまして一般参加者の募集は行わず、奉耕者である長嶋様の

ご指導の下、会員のみで作業を行う事となりました。本来であれば、お子様を含めた参加者の方々にも稲作に纏わる神事「抜穂祭」に参列を頂き、その後伝的な人の手による稲作を体験して頂きたく準備を進めておりましたが、叶わぬところとなってしまいました。

感染症の影響で先人たちから受け継いできた伝統に触れる機会が激減する中、日本の文化を如何にして守り伝えていくのか。困難な時代の中で、私達青年神職に課せられた課題であるとも感じられました。

また、収穫された懸税は伊勢の神宮の神嘗祭に、そしてお米（イセヒカリ）は県内の各神社へと御奉献をさせて頂きました事をご報告させて頂きます。

時局対策研修会

総務局 局長 志村幸弥

令和二年四月七日、神奈川県を含む七都府県に緊急事態宣言が発出され、私達は新型コロナウイルス感染症予防を主とした生活を送る事となりました。店頭ではマスクやアルコール消毒液が姿を消す等、様々な混乱が起きました。

飲食店等でも感染症対策を余儀なくされる中、社頭での奉仕においても感

染症対策の徹底をとの通達がなされ、御祈禱や授与所においても様々な感染予防の措置が取られました。

厚生労働省や神社本庁等から感染対策についてのガイドラインが出され、テレビ等のマスメディアでも日々新型コロナウイルス感染症予防についての情報が発信されており、それらを元に各神社において感染対策を整えている状況ではありましたが、七五三や初詣と参拝者が増加する時期を控え、専門家の講師を招き今一度正しい感染対策についての知識を学ぼうと、令和二年十



創業百有余年

— 伝統の技術を活かした授与品作り —

神奈川県神社庁をはじめ
全国各神社でご利用頂いております。

神符・守札・木札・金欄御守・御朱印帳
交通安全守・彫り木守・その他各種授与品

ご一報いただければカタログ送付致します

株式会社 **丸井紙店** TEL 055-272-0136
FAX 055-272-3966

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門763

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代表) FAX 0120-34-2996

月二十日に感染症対策研修会を行いました。尚、本研修会は感染症拡大を考慮し、ウェブ会議システムZoomを用いて行いました。

講師には聖マリアンナ医科大学感染症学講座教授・同大学病院感染症センター長をお務めの國島広之先生をお招きし、参加者は奉務神社や自宅等それぞれの場所からオンラインでの参加となりました。

講義にあたり、まずコロナウイルスについての基本のお話をされ、新型コロナウイルスの感染状況や感染した



際の症状、現在行われているウイルス検査についての説明をされました。

次どのような感染症対策を行えばよいか、國島先生が携わった実験等に照らしながら、マスクの装着や手指消毒の重要性について触れ、感染リスクがどういった状況で高まるかについて説明をされました。その後、神社における感染症対策について、より具体的な説明を頂き、参拝者への感染対策、奉仕者が行うべき感染対策について説明を頂きました。

講義の後、質疑応答を行いました。参加者からは活発な質疑がなされ、今後の社務における感染対策について多くの気付きを得ました。

様々な情報が行き交う中、感染症対策の最前線におられる専門家の方から直に講義を頂ける貴重な研修会でありました。まだまだ収束の目途が立たない状況ではありますが、一人一人が感染予防に努めることが肝要であります。本研修会で得た知識がしっかりとした感染症対策の一助となれば幸いです。

神青協一都七県協議会研修会

総務局 局長 志村幸弥

令和二年十二月二日、神青協一都七県協議会によるオンライン研修会が開



会からは三名出席致しました。

講師には明治神宮国際神道文化研究所 主任研究員 今泉宜子先生をお招きし、「明治神宮創建を支えた心と叡智」と題し、明治神宮創建という一大事業がどのような構想の下になされていたのかご説明頂きました。

明治神宮は、明治四十五年明治天皇崩御に際し国民敬慕の熱い願いにより創建されましたが、その際に実業家

催されました。例年では明治神宮に参集して行われますが、本年は新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、一部役員のみ会場に参集して、他の参加者はオンラインでの受講となり、当

民俗工芸オリジナル

コロナ対策

大勢が触るのを防ぐ

株式会社 民俗工芸

TEL 0120-534-550
FAX 0120-872-550

〒852-1162 長崎県佐世保市町本町18-1
上曜日も平常通り営業致しております。

袋みくじ頒布台 300枚用

おみくじ

一体ずつビニール袋に入ったおみくじを参加者に選んでいただく頒布台です。

※おみくじの袋は別売です。

W54.5×H54.5×D20.5 cm

1台 **6,000円** (税込)

祈りのかたち
京の伝統と真心を込めて

御社寺ならでしの御守をオーダーメイドで奉製いたします
色・柄・形などお気遣い御相談ください

環境にやさしい生地づくりを心がけています

京都奉製株式会社

京都本社 / 東京営業所 / 仙台営業所 / 福岡営業所

TEL 0120-164124 (イロイニシキ)

ホームページ <http://www.omamori.co.jp>

洪沢栄一等の有力者が有志委員会を組織し、神宮創設の具体案を明記した「覚書」が出され、それを元に内苑、外苑、記念館、表参道、裏参道が整備されたと説明されました。特に境内林苑の整備に関しては、「森厳にして神社林としてふさわしきもの」とし、気候風土や環境保全等が考慮され、「永遠に林相を天然更新為し得るもの」として、全国から献木された針葉樹・広葉樹を混植し整備がなされていたと説明されました。

また、明治神宮の造営にあたっては有志による全国から延べ十一万人に及ぶ青年団の協力があり、青年団の活動や休日のごし方、造営工事の担い手として地域を代表し参加したその想い、造営後の青年団員の各地域での活躍について述べられました。

その後、明治神宮鎮座百年からの展望として、昭憲皇太后基金について触れられました。この基金は明治四十五年に赤十字の平時の活動を奨励するために昭憲皇太后が国際赤十字に御寄付された十万円（現在の価値で三億五千万円相当）を元に創設されたもので、「平時に備える」といった発想が広く普及していなかった中、画期的なことであったとのこと。現在も、この基金は運用されており、他の基金に比べて小規模なものではありますが、純



臨時総会

事務局 局長 松尾寛一

粹に人道的なグローバルな基金が、日本の皇太后の発意によってODAと言った概念が生まれる半世紀も前に設立された事実を広く国民にも認識して頂きたいと述べられました。

次いで、明治神宮崇敬会の福祉活動や十一月に行われた鎮座百年祭、また今後迎える諸々の節目となる御祭事について説明されました。

創建から鎮座百年を迎えた本年までの明治神宮の姿を知り、明治神宮についてより深い理解を得ることの出来る研修となりました。

令和二年十二月八日、伊勢山皇大神宮参集殿に於いて臨時総会を開催致しました。例年、忘年会と併催する形をとっており、忘年会も兼ねておりました。また、未だ収束を見せぬ新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、健康と安全を

考慮した上で多く人数が集まることを避けるため、ご来賓の先輩方への案内は取り止め、ウェブ会議システムを用いたハイブリッド型臨時総会という「人数の縮小・時間の短縮」を意識した形式にて運営致しました。

議長には志村総務局長が指名され、事務局からの出席報告を受け総会の成立を宣言。議事では、次期会長に先の役員会で選出、推挙されました守屋隆広副会長（兼 当会創立七〇周年記念事業実行委員長・森戸大明神 禰宜）が川辺会長より推薦され、満場の拍手を以って承認されました。

守屋新会長からは、この新型コロナウイルス感染症という疫病が蔓延し満足の活動が行えない中でも、会員が一人丸となって世の為、斯界の為に知恵を出し合えるような環境を作りたいと抱負を述べられ、会員一同、この大きな困難に立ち向かうべく心一つにして青年会活動に邁進していくことを決意致しました。

最後になりましたが、コロナ禍にも拘わりませず会場をお貸し下さり正式参拝をご奉仕頂きました伊勢山皇大神宮様、ご多忙の中ご挨拶を賜りました阿久津宮司様、この場をお借りし改めて御礼申し上げます。有難うございました。

社頭授与品専門奉製所

(主要奉製品意匠権所有に付、侵害厳禁)

帝陸神宝(株)

〒310-0902 水戸市渡里町 835-1

☎ (水戸) 029 (227) 0511 (代)
FAX (水戸) 029 (227) 0512

繊細な技術と日本の伝統を今に継ぐ
授與品の奉製

古都 奈良の

株式会社 **大和奉神堂**

〒630-8434 奈良市山町782番地

TEL 0742-62-3235(代)

FAX 0742-62-3228

E-mail : hoshindo782@yahoo.co.jp

HomePage : <http://www.yamato-hoshindo.net/>

神青協一都七県協議会 オンライン研修会

渉外部 部長 小泉匡史

令和三年二月九日Zoomを用いて令和二年度神青協一都七県協議会オンライン研修会が開催されました。講師には、山名八幡宮権禰宜山口和也先生をお招きし「神社を中心としたコミュニティの再生」をテーマにご講義いただきました。

みなさんは、ご存じでしょうか？コンピニエンストアよりも神社の数の方が多いという事を。「そんなことは当たり前」と、思われたかもしれませ



ん。しかしながら、訪れる人の数はいかがでしょうか？

現在の参拝者の声は「初詣に行くけど、それ以外で神社に行く理由がない」、「常駐の神主がいるかわからない」、「整備が行き届いていない神社は薄暗くて少し怖い」との事です。

かつての日本では祈りが日常であり、神社がより身近な存在でありました。その姿を取り戻すためには、参拝者が神社へ行く理由を創出し日常の場所にする必要があります。

山名八幡宮では、①公共の場で出来なくなった遊びの提供②子育ての孤立化や悩みを緩和③発達障害児のサポート④地域住民との交流の場の創出およびおもてなしの心の醸成⑤母子が安心できる食の提供⑥グローバルな価値観を教育、以上を課題とし、①については「家族とともに最高の休日を」というテーマで家族参加できる催しを毎月開催し、多くの人を集めています。②については、母子の身体に安全な料理を提供しつつ子育て情報を共有できるカフェを境内に作りました。③については学童保育のできる場所を境内に設置する予定。④については、世代を問わずそれぞれの個性を表現できる場を創出するために地域の特産物や地域文化に触れていただく「なんばち縁起市」を開催。⑤については、天然酵母と国

産小麦のパンを販売。⑥については外部の英会話教室と連携し日本と海外の文化の違いを学ぶスクールを運営するなど、それぞれ解決に向けての取り組みが行われております。

時代とともに人の心は常に変化していきますし、神社も時に柔軟に変化し対応して行かなければなりません。ただ忘れてはいけないのは、参拝して良かったと思ってもらえることが日常的に訪れてもらえる地域の拠り所になるという事です。

何が正しくて何が正しくないのかは時代と共に変わることもあれば環境により異なる事もあると思います。

今後の神社の在り方や展望など今一度多角的に考える貴重な時間となりました。

広報遠隔研修会

IT事業推進部 副部長 平井倫行

令和三年二月十八日十八時より、神奈川県神道青年会の広報部とIT事業推進部合同による、広報遠隔研修会「ローカルメディアによる地域内外への魅力発信」を実施致しました。

数多の情報が昼夜、国内外を問わず飛び交い、価値観、それ自体も多様化する現代社会において、神社、地域や氏子、崇敬者、参拝者、また観光を目

奉じる心を大切に 全国社寺 授与品 総合奉産 調度品

京都・吉祥院
東和奉産株式会社

代表取締役 松尾正貴

本社・工場 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町七



電話代表 (075) 691-3000
FAX (075) 691-3300
E-mail info@towahosan.jp

各種御守・授与品全般・デザイン制作承ります。

にしき
西紀
有限会社

TEL: 072-810-8133

FAX: 0120-71-8135

FAX 24 時間受付

〒576-0034 大阪府交野市天野が原町 4-1-7
メール: mytom@chive.ocn.ne.jp

的に当地を訪れる人達と、どのような関係性を取り持つべきなのか、自社や地域のイメージを、情報の流れの中で、



どの様に共感し得るものとして提示、位置づけていくべきなのか。今回、地域の時間や生活の魅力をデザインし、内外へと広報・発信するローカルメディアに長く携わっておられる、真鶴出版代表・川口瞬先生に、ご登壇を頂きました。

研修内容はまず、SNSにおける広報の基本的な傾向の確認のほか、「コミュニティの形成と再生」という問題に焦点があてられ、神社からの伝統慣習や季節の行事などの情報発信には、それ自体において今なお強く求められる社会的価値が存在する事、また、神社には様々な「文化拠点」としての可能性があり、美術館や博物館、あるいは大学、教育機関、その他、地域や民間の様々な事業、団体、あるいは個人との連携や企画など、人的交流の支点となり得る可能性を、ご教授頂きました。

無論の事、これらの可能性とは全て、適切な情報発信の体制と、広報システムの合理化という課題の上に見出されるべき視座といえますので、我々神職が今後、こうした問題とどの様に真摯に向き合っていくかは、大切な論点であると思います。

本研修は、新型コロナウイルスによる世相の混迷を受け、ミートインングサービスとして広く普及しているZ o

omアプリを使用し、それぞれの会員が、各神社の施設や、あるいは自宅から、PCないし、スマートフォン、タブレットから同時接続をする事で、実現へと到りました。また、こうした過酷な情勢に対応すべく、広報部とIT事業推進部が、研修内容の企画・立案段階から、綿密な連絡と、幾度もの遠隔会議を実施した事も、時局に応じた、特筆すべき試みでしょう。

当代の様々な最新技術を柔軟に取り入れ、また、こうした非常時の中、具体的な過程を共有しつつ育まれた各部との信頼関係も、此度の大きな成果として、誠に意義深い事であったと思います。

本研修が、神社界と情報社会との関係性を思考する、一つの契機となりましよう、祈念する次第です。

神青協創立七十周年記念事業 竹島領土平安祈願祭一斉奉仕

事務局 局長 松尾寛一

令和三年二月十九日、全国の青年神職組織である神道青年全国協議会の呼び掛けにより神奈川県内の各神社に於いて「竹島領土平安祈願祭」を執り行いました。

神青協では、一日も早い平和的な解決と竹島をはじめ日本海の安寧静謐を

神祭具 授与品 記念品 奉製

株式会社 神路社

本社
〒516-8611 三重県伊勢市岩潤2丁目5番29号(私書箱第26号)
電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110
E-mail info@kamijisya.co.jp

神苑(東日本営業所)
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号 ACTビル4階
電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721
E-mail info-tokyo@kamijisya.co.jp
http://www.kamijisya.co.jp

宮内庁 神社本庁・神奈川県神社庁・各県神社庁
全国神社・小笠原流弓馬術礼法教場

御用達

株式会社 大槻装束店

代表取締役 大槻 奈津子

〒113-0034 東京都文京区湯島3-13-2
http://www.ootsuki-shozokuten.com
E-mail: info@ootsuki-shozokuten.com
千代田線・湯島駅徒歩4分/銀座線・末広町駅徒歩6分

電話：03-3835-3201 FAX：03-3835-0617

二日は「竹島の日」です。平成十七年、竹島に関する島根県告示一〇〇周年を機に、この告示のあった二月二十二日を「竹島の日」と定め、毎年、県等が主催して式典が開催されています。当会も、我が国固有の領土を守るため多くのの方に関心を持って頂けたらと、ご



祈り、平成二十六年に隠岐の島町久見の地へ「竹島之碑」を建てており、今回、神青協創立七〇周年記念事業として現地での祭典が企画されており、緊急事態宣言の延長を受け断念。全国の青年神職へ、奉務神社での一斉奉仕が呼び掛けられました。

二月二十



令和三年三月十日、大洗海岸に於いて神青協一都七県協議会主催による「東日本大震災発災十年物故者慰霊祭並びに早期復興祈願祭」が斎主を瀬尾

神青協一都七県協議会東日本大震災発災十年物故者慰霊祭並びに早期復興祈願祭
総務局 局長 志村幸弥

領土問題の一日も早い解決と、竹島領土権の早期確立を願います。



提供頂いた各お社の一斉奉仕の写真と共に「竹島の日」についてフェイスブックへ投稿し発信を

一七協会長、祭員を一都七県の各単位会会長が務められ、執り行われまし

三月十一日、神奈川県神社庁御神殿において、神奈川県神社庁長（代理土岐淳参事）にご参列を賜り「東日本

東日本大震災発災十年
早期復興祈願祭

会長 川辺浩司

延長となり、新型コロナウイルス感染症予防のため来賓・会員の参列は伴わず、奉仕者のみでの祭典となりました。被災地の復興は日進月歩進んでおりますが、まだまだ真の復興への道のりは長く険しいものと言わざるを得ません。震災の記憶を忘れることなくしっかりと未来へ繋いでいくことが真の復興への近道となります。今後起こり得ると言われている、私達の住む地域での地震にも心を配りつつ、震災被害者への哀悼の誠を捧げ、一日も早く復興の日を迎えることを祈念致します。



る本年、本来であれば多くの会員と共に行動する予定でしたが、一月に再発出された緊急事態宣言が延長に次ぐ



「学びのプログラム」として現地の復興状況の視察などを行って参りました

大震災発災十年早期復興祈願祭」を執り行いました。奉仕員には令和二年度で卒業退会となる会員にも協力を仰ぎ、感染症対策として当会役員のみで参集とし、参列が叶わない会員には各奉務神社において共に祈りを捧げて頂くよう呼びかけました。

した。

大震災発

生から、神

道青年全国

協議会や各

単位会と連

携した復興

支援活動を

はじめ、東

日本大震災

パネル展、

教養研修会

「学びのプ

ログラム」

として現地

の復興状況

の視察など

を行って参

りました

が、発災か

ら十年が経過し、当会でも復興支援活動などに携わった会員が少なくなり、震災の記憶の風化が懸念されております。当会では震災から二年目となる平成二十五年に神奈川県神社庁旧庁舎にて先輩諸賢のご努力により復興祈願祭が執り行われましたが、この度震災十年の節目に神社庁新庁舎での復興祈願祭が叶い、震災の記憶の継承を御神前にお誓いすることができたと実感しております。

被災地の復興はまだ道半ばです。今後も会員一同被災地に心を寄せ続け、復興と慰霊の祈りを継承して参ります。

慰労送別会 (退会者への記念品贈呈)

親睦部 部長 中村友郎

親睦部では例年三月に年度末の恒例事業として、一年間の会員相互の慰労と定年退会・県外転出をされる会員の送別を目的とした「慰労送別会」を企画・開催して参りましたが、本年は新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し中止となりました。

しかし、これまで当会に様々なご貢献を頂いた退会者の皆様にせめてもの感謝の意を伝えたいと考え、これまで送別会で行ってきた事に倣い記念品を



贈呈する運びとなりました。

令和三年三月十一日、神奈川県神社庁にて斎行された東日本大震災発災十年早期復興祈願祭において今期退会者の皆様をご奉仕・ご参列さ

れた機会に合わせ、またご出席の叶わなかった方々にはご関係の会員を通して、万年毛筆（名入れ筆ペン）を無事お贈りする事が出来ました。末永くご活用いただき、手にする度に在会中の思い出を想起させるものとなり、また現役会員へ少しでも想いを馳せて頂く機会となれば大変幸甚に存じます。

結びに、令和二年度の親睦部の活動は実質的にこの記念品贈呈事業のみとなり、令和二年五月にZoomを使用したオンライン親睦会を辛うじて開催する事は出来ましたが、残念ながら対面での親睦事業を遂行することは叶いませんでした。令和三年度以降も暫くの間は（特に親睦部にとっては）難しい事業運営を迫られる事になるかと思いますが、皆で知恵を出し合い今の世情に見合った新たな会員交流の場を提供するべく模索を続けて参ります。

令和2年度後期活動報告

10月

- 7日 青少年育成事業「稲作体験」稲刈り（神奈川県神道青年会御神田）
- 14日 第3回拡大役員会・第17回70周年実行委員会（伊勢山皇大神宮・Zoom）
- 20日 時局対策研修会「感染症対策研修会」（Zoom）
- 22日 神政連東京都・神奈川県本部合同「靖國神社参拝研修会」（靖國神社）
- 23日 神青協一都七県協議会「第3回定例会議」（Zoom）

11月

- 13日 第4回拡大役員会・第18回70周年実行委員会（伊勢山皇大神宮・Zoom）
- 25日 神青協「令和2年度臨時総会」（Zoom）
- 27日 神奈川県神社庁「神職大会」（杉田劇場）

12月

- 2日 神青協一都七県協議会「ハイブリッド研修会」（明治神宮・Zoom）
- 3日 松田良昭県議「かながわ元気フォーラム2020」助勢（ローズホテル横浜）
- 4日 神青協一都七県協議会「第4回定例会議・座談会」（Zoom）

- 8日 臨時総会（伊勢山皇大神宮・Zoom）

2月

- 4日 神青協一都七県協議会「第5回定例会議」（Zoom）
- 9日 神青協一都七県協議会「オンライン研修会」（Zoom）
- 11日 第5回拡大役員会・第19回70周年実行委員会（Zoom）
- 18日 広報遠隔研修会「ローカルメディアによる地域内外への魅力発信」（Zoom）
- 19日 神青協創立70周年事業「竹島領土平安祈願祭一斉奉仕」（各県内神社）

3月

- 10日 神青協一都七県協議会「東日本大震災発災十年物故者慰霊祭並びに早期復興祈願祭」（大洗海岸）
- 11日 東日本大震災発災十年早期復興祈願祭（神奈川県神社庁）
- 17日 関東一都七県神政連協議会「時局研修会」（神奈川県神社庁）
- 17日 役員会・第20回70周年実行委員会（品濃白旗神社・Zoom）

入会・退会会員

◇入会

鶴岡八幡宮	権禰宜	大高	直樹
鶴岡八幡宮	権禰宜	田中	啓瑛
鶴岡八幡宮	権禰宜	山口	和久
稲毛神社	権禰宜	下斗米孝行	
寒川神社	権禰宜	角河	礼隆
寒川神社	権禰宜	土岐	頼誉
森戸大明神	権禰宜	吉本けい	と
杉山神社	出仕	早坂	寿史
箱根神社	出仕	高山	大樹

◇退会

天神社	権禰宜	伊奈	誉幸
鶴岡八幡宮	権禰宜	谷口	征司
鶴岡八幡宮	権禰宜	坂本	尚文
琴平神社	権禰宜	大竹	晴子
神鳥前川神社	権禰宜	晴澤昭比古	
富岡八幡宮	権禰宜	寺島	成美
伊勢山皇大神宮	権禰宜	椿	拓磨

退任顧問・定年退会会員

◇退任顧問

日枝神社	宮司	角井	瑞
曾屋神社	権宜	守山	和宏

◇定年退会会員

六所神社	権宜	柳田	崇道
住吉神社	宮司	雨宮	知詩
杉山神社	権宜	金子有美子	
比々多神社	権禰宜	木村	佳裕
若宮八幡宮	宮司	中村	博行
本牧神社	権禰宜	浦田	善史
神明社	権禰宜	隅川由紀恵	
神明社	権禰宜	安達	大輔
寒川神社	権禰宜	高畠	弘

慶弔報告

◇結婚

神鳥前川神社	権禰宜	晴澤昭比古
神奈川県神社庁	録事	齋藤真梨奈
令和二年十一月二十六日		
琴平神社	権禰宜	大竹
令和三年二月二十八日		
寒川神社	権禰宜	松橋
令和三年三月二十四日		

◇誕生

・富岡八幡宮
権禰宜 佐野若菜
令和二年五月八日
第三子 次男 旭



・神明社
権禰宜 安達大輔
令和二年十一月三日
第二子 長女 夕香



・八幡大神
権禰宜 小泉匡史
令和二年十二月八日
第一子 長女 裕莉



・鶴岡八幡宮
権禰宜 宮本龍一
令和三年三月二日
第一子 長女 梓早



・座間神社
権禰宜 平賀允教
令和三年三月五日
第二子 長男 啓嗣



・伊勢山皇大神宮
権禰宜 利根伸介
令和三年三月二十六日
第二子 長男 康太



～事業品のご案内～

境内の彩りに

朱傘 32,000 円 / 朱傘台座 33,000 円

朱傘・台座セット 63,000 円

【朱傘】
直径 200cm、高さ 254cm、台座使用時 255cm

【台座】
上正方形 29cm×29cm、下正方形 47cm×47cm、
高さ 55cm、穴内径 4.8cm

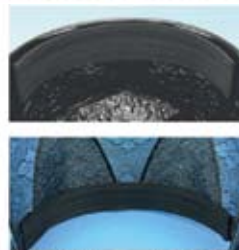
祭典や結婚式の参進、
七五三などにお勧めします。

※縁台は付属していません

烏帽子用汗取りパッド

5 枚入り 2,000 円

東レの抗菌防臭素材セベリスを使用したパッド。
汗や皮脂のべとつき不快感を軽減します。
化粧移りが気になる女性の額当や冠にもおススメです。



密着当の幅に合わせカットしております

お食い初めセット(化粧箱入り)

【化粧箱のサイズ】

膳なし 21.2cm×19.6cm×7cm

膳あり 24.3cm×20.7cm×11.5cm

膳なし 1,500 円 / 膳あり 2,000 円



鎮物各種

※紙製、木製は
10 体以上から承ります。



紙製 200 円 / 木製 700 円 / 陶器 角型・丸型各 1,500 円

白衣、襦袢

冬物・夏物共にご用意しております。

白 衣

品番	品名（白衣）	定価
X 2	夏物（テトロン、麻）	7,000 円
X 3	冬物（ウール）	9,000 円
X 4	合物（ブロード）	7,000 円
X 5	合物（ポリエステル）	7,800 円

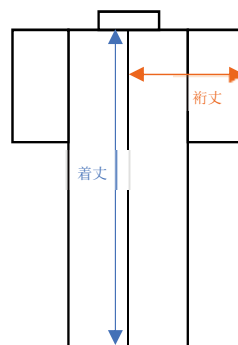
襦 袢

品番	品名（襦袢）	定価
S 4	合物（サラシ）	3,000 円
S 5	夏物（クレープ）	3,200 円
S 6	冬物（天竺素材）	3,200 円
S 7	冬物（ネル）	3,500 円

白衣サイズ表

（単位 cm）

	小寸	中寸	大寸	特大寸	女小寸	女中寸	女大寸
着丈	130	135	140	145	115	120	125
衿丈	66.5	68	69	70	63	65	67



襦袢サイズ表 （単位 cm）

	M寸	L寸	女寸
着丈	76	82	67
衿丈	65	68	60

福助足袋

縫製が良く丈夫な日本製。
注文は5足から承ります。

品番	品名	サイズ（単位 cm）	定価
1303	足袋（ネル）	22.0～28.0（0.5 刻み） 29.0～30.0（1.0 刻み）	1,000 円
3303	足袋（サラシ）	21.5～28.5（0.5 刻み） 29.0～30.0（1.0 刻み）	1,000 円

※足袋の価格を改定致しました。御了承の程お願い致します。

その他事業品

品名	定価
国旗セット（縦 71cm、横 89cm、ポール 150cm）	2,000 円
浅沓 小（25cm 以下） 中（25～26cm） 大（26～27cm） 特大（28～29cm）	19,000 円

お申し込み、お問い合わせはFAX又はメールにて承ります。
FAXの場合は別紙申込用紙をご使用下さい。
送料、振込手数料は別途ご負担頂きますようお願いいたします。

〒253-0195 高座郡寒川町宮山 3916（寒川神社内）立岩秀夫

電話：0467-75-0004 FAX：0467-75-0071

e-mail:kanagawa_sinseikai_jigyoubu@yahoo.co.jp



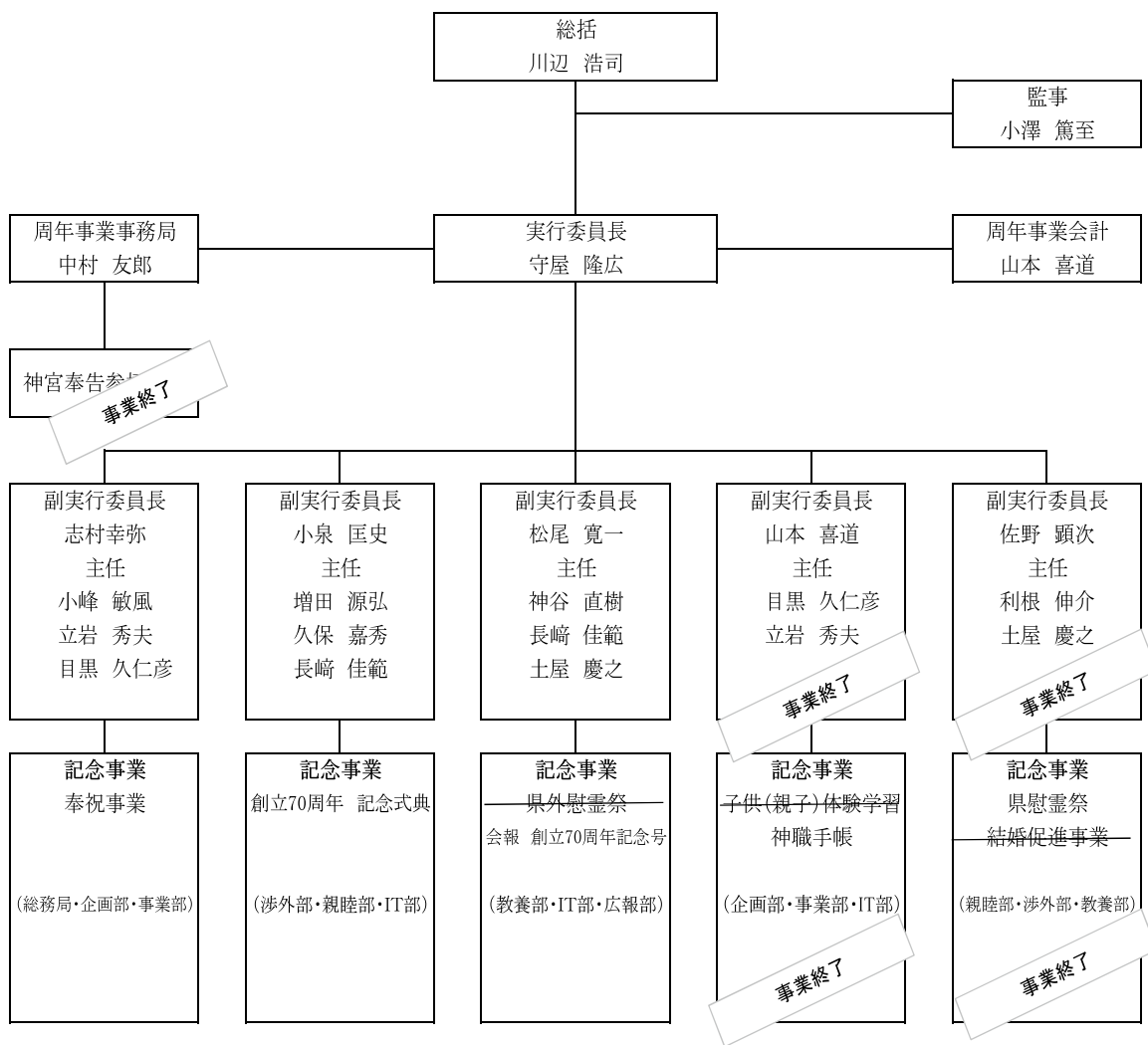
注文メール作成に！

【神奈川県神道青年会 創立70周年記念事業概要】(案) 事業指針【生児八十綿連～うみのこのやそつづき～】

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、下記のように日程を変更致します。今後の情勢によっては事業中止の判断もございます。 ■いずれも仮称

1. 創立70周年記念大会開催(令和2年9月2日)→(延期)
今後の情勢を注視し、開催日程を検討する。
県内神職、友好団体をはじめ各県青年会等々をお招きし、記念式典・記念講演・祝賀会を開催する。
→開催日程は令和3年10月18日予定。記念大会については講演会、宴会を中止とする等の規模縮小開催。また、会場についても再度検討し予算なども見直す。
2. 神奈川県慰霊堂戦没者慰霊祭斎行(令和2年5月29日実施済)
感染症拡大の影響により慰霊堂が使用できず、戸部杉山神社にて神籬祭祀での祭典斎行を行う。今後、情勢を注視しつつ慰霊堂での祭典斎行を検討する。
創立55周年の「慰霊の集い」から紡がれた慰霊の思いを本周年でも慰霊祭を行うことで継承していく。
→準備、予定調整も考慮し結果、県慰霊堂における令和3年5月29日の慰霊祭斎行は困難であると判断し、戸部杉山神社に於ける神籬祭祀での慰霊祭を以て事業終了とする。
3. 「顔写真入り神職手帳」作成 配布(令和3年3月配布済)
55周年時に10年振りに作成された「顔写真入り神職手帳」。神職相互の交流や諸会合等での活用が大きな反響を呼んでいる。65周年にて新規作成したたが、5年経過するのを機に、最新の物と体裁を再考し、県内神職に配布。
4. インド・インパール戦没者慰霊祭斎行(令和2年6月8日～)→(中止)
3月初旬のインド渡航制限を受けて延期を決定し、今後は日本だけでなく世界情勢も注視しながら斎行日程を検討する。
創立40周年の記念事業として斎行されたサイパンでの海外慰霊祭。それから30年の月日が流れた中、今一度神奈川の青年会員が海外で慰霊祭を行うべく、神道による慰霊が行われていないインド インパールで慰霊の誠を捧げ、次代へも思いを繋ぐ。
→周年としてのインパール戦没者慰霊祭は中止とし、現地渡航が可能になった段階で再度慰霊祭の計画を立て現地と調整の上、特別事業として実施する。
5. 周年奉告参拝旅行(令和元年9月3日、4日実施済)
周年事業を始めるに当たり、賛助会員の先輩方と神宮に報告参拝を行う。
6. 青少年育成事業 子供神社体験学習(令和2年3月30日、31日)→(中止)
今後の情勢を注視しつつ日程を検討する。但し、子供を含む対外事業の為、令和3年度内に実施が難しいと判断した場合は事業中止も含め再検討する。
創立35周年で示された青少年教化育成への思いを具現化する。親や神社境内を利用した体験学習を行うことで、子供たちに神社に親しむきっかけを作り、次代への教化を行う。
→コロナ禍において、各教育機関においても通常運営は出来ていない中、お子様をお預かりする事業は困難であると判断。事業実施計画等については今後の糧とすべく継承し、70周年記念事業としては中止とする。
7. 単身者結婚促進 お宮達ひ(令和2年10月7日)→(中止)
今後の情勢を注視しつつ日程を検討する。但し、一般女性を含む対外事業の為、令和3年度内に実施が難しい場合は中止も含め再検討する。
創立65周年で行い、2組が結婚。外部より斯界との縁談を求む男女を募り、未婚者の結婚へ向けての切っ掛け作りをする。
→コロナ禍において会員の参会もままならない中で、一般の方を募る事業を実施することは困難であると判断し、中止とする。
8. 奉祝事業 歌会始め詠進(実施済)
奉祝事業 天皇陛下御即位奉祝パネル展
(令和2年7月13日、14日)→(延期※Web公開も検討)
今後の情勢を注視しつつ、日程を検討する。但し、時機を得る事業である為、題名の変更やWeb公開も含め実施時期と方法を検討する。
新帝陛下の御即位を会を挙げてお祝いすると共に、奉祝の機運醸成を図る。
→延期されていた立皇嗣の礼が令和2年11月8日に行われ、御大礼の全て完遂となった。コロナ禍にあって奉祝の機運を高める事が非常に難しい状況ではあるが、このような状況下でも今上陛下が変わらず国民の為に祈りを続けておられる事などをパネル展を開催することで広くお伝えし、皇室敬慕の機運醸成を図りたい。
9. 会報「神奈川 創立70周年記念号」発行
(令和3年5月発行予定)→(延期※記念号以外の事業完遂後発行)
周年事業の集大成として会報「神奈川」の記念号を発行。周年事業報告・協賛募金活動報告などを掲載。
→50周年以降の会運営については先輩方ので尽力により多くの記録が残っていること、また、本体事業において慰霊碑調査を予定している事も含め、70周年記念誌では過去の記録は掲載せず、周年事業報告、協賛募金活動報告など70周年報告を掲載する。

神奈川県神道青年会 創立70周年実行委員会組織図（案）



編集後記

先ず、『会報神奈川七十一号』の発行にあたり、ご多忙中、大山阿夫利神社 宮司目黒先輩を始め、ご寄稿いただいた会員、ご協賛各社、関係者皆様、ご尽力に厚く御礼申し上げます。

今年は東日本大震災から十年という節目の年であり、その矢先二月十三日、福島沖で最大震度六強の地震が発生しました。「天災は忘れた頃にやってくる」という警句がある様に、日頃から防災の意識と備えの大切さを改めて感じました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、初めての「コロナ禍での初詣」は「分散参拝」など、不安や違和感を持ちながらも、かつてないほどの心労があつたかと思えます。今後は震災やコロナの経験を忘れる事無く、何事にも真剣に取り組んで行く事が重要かと再認識させられました。

未だに収束が見えない状況ではありますが、これからの当会の益々の発展・ご活躍、そして皆様のご健康を卒業会員の一人としてお祈り申し上げます。

広報部 副部長 雨宮知詩